

日 付： 2025 年 2 月 5 日

研修名： 第 74 回 JR 広島病院オープンカンファレンス

タイトル： 外来診療のピットフォール

氏 名： 徳田 安春

所 属： 群星沖縄臨床研修センター センター長

座 長： 田妻 進 病院長

この講演は、外来診療における診断エラーのピットフォールについて行われた。診断エラーを減らすために設立された診断エラー学会の活動や、診断エラーの疫学と主な要因について説明した。日本の医療訴訟ケースにおける診断エラーの割合や、診断エラーの原因分析も行っている。特に、認知エラーの関与が大きいことが強調された。

また、診断エラーの具体的なケーススタディを通じて、認知バイアスの種類とその影響についても解説した。例えば、インフルエンザシーズン中の診療での診断エラーや、急性胆嚢炎と診断された患者が実際には急性胆管炎であったケースなどが紹介された。これらのケースを通じて、診断モメンタムやアンカーリング・バイアス、コンファメーション・バイアスなどの認知バイアスの影響が示された。

さらに、診断エラーを防ぐための対策として、チェックリストや AI、マインドフルネスの活用が提案された。鑑別診断チェックリストや電子診断システムの利用が、難解なケースの診断に有用であることも示された。また、診断タイムアウトやマインドフルネスの実践が、診断エラーのリスクを減少させるために重要であるとされた。

最後に、クオリティーM&M（Morbidity & Mortality Conference）やクリニカル・パール、魚骨ダイアグラムを用いた分析が、診断エラーの原因を明らかにし、改善策を見つけるために有用であることが述べられた。チームとしての心理的安全性の確保も、診断エラーを減らすために重要な要素であるとした。

以上、この講演は、診断エラーの原因とその対策について包括的に解説しており、医療従事者が診断エラーを減らすための具体的な方法を学ぶために行われた。